



# ラインコマンド

---

この章は、次の項で構成されています。

- [autobaud](#) (2 ページ)
- [exec-timeout](#) (3 ページ)
- [ライン](#) (4 ページ)
- [speed](#) (5 ページ)
- [show line](#) (6 ページ)

# autobaud

自動ボーレート検出（自動ボー）の回線を設定するには、**autobaud** コマンドを回線設定モードで使用します。

自動ボーレート検出を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

## 構文

**autobaud**

**no autobaud**

## パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト設定

自動ボーレート検出を有効にします。

## コマンドモード

ライン コンフィギュレーション モード

## 使用上のガイドライン

このコマンドを有効にすると、次のようにアクティブ化されます。コンソールをデバイスに接続し、Enter キーを 2 回押します。デバイスは、ボーレートを自動的に検出します。

Enter 以外の文字が入力された場合、誤った速度が認識される可能性があることに注意してください。

## 例

次の例では、自動ボーを有効にします。

```
switchxxxxxx(config)# line console  
switchxxxxxx(config-line)# autobaud
```

## exec-timeout

セッションアイドル間隔を設定するには、自動的にログオフされるまでシステムがユーザ入力を待機する間、**exec-timeout** 回線設定モードコマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

**exec-timeout** *minutes* [*seconds*]

**no exec-timeout**

### パラメータ

- **minutes** : 分数を指定します。(範囲 : 0 ~ 65535)
- **seconds** : (オプション) 秒数を指定します。(範囲 : 0 ~ 59)

### デフォルト設定

デフォルトのアイドル間隔は 10 分です。

### コマンドモード

ライン コンフィギュレーション モード

### 例

次の例では、自動的にログオフされるまでの telnet セッションアイドル間隔を 20 分と 10 秒に設定します。

```
switchxxxxxx(config)# line telnet  
switchxxxxxx(config-line)# exec-timeout 20 10
```

# ライン

設定の特定の回線を特定し、回線設定コマンドモードを入力するには、**line** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。

## 構文

**line** /console / telnet / ssh/

## パラメータ

- **console** : 端末回線モードを入力します。
- **telnet** : リモート アクセス (Telnet) の仮想端末としてデバイスを設定します。
- **ssh** : 保護されたリモート アクセス (SSH) の仮想端末としてデバイスを設定します。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## 例

次の例では、リモート アクセス (Telnet) の仮想端末としてデバイスを設定します。

```
switchxxxxxx(config)# line telnet  
switchxxxxxx(config-line)#
```

# speed

回線ボー レートを設定するには、**speed** コマンドを回線設定モードで使用します。

デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

## 構文

**speed** *bps*

**no speed**

## パラメータ

**bps** : 1秒あたりのビット数 (bps) でボー レートを指定します。使用可能な値は、9600、19200、38400、57600、および 115200 です。

## デフォルト設定

デフォルトの速度は 115200 bps です。

## コマンドモード

ライン コンフィギュレーション モード

## 使用上のガイドライン

設定した速度は、**autobaud** が無効になっている場合のみ適用されます。この設定は、現在のセッションのみに適用されます。

## 例

次の例では、1秒あたり 9600 ビット数として回線ボー レートを設定します。

```
switchxxxxxx(config-line)# speed 9600
```

# show line

回線パラメータを表示するには、**show line** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

## 構文

**show line** [**console** / **telnet** / **ssh**]

## パラメータ

- **console** : (オプション) コンソール設定を表示します。
- **telnet** : (オプション) Telnet 設定を表示します。
- **ssh** : (オプション) SSH 設定を表示します。

## デフォルト設定

回線が指定されていない場合は、すべての回線設定パラメータが表示されます。

## コマンドモード

特権 EXEC モード

## 例

次に、回線設定を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx# show line
Console configuration:
Interactive timeout: Disabled
History: 10
Baudrate: 9600
Databits: 8
Parity: none
Stopbits: 1
Telnet configuration:
Telnet is enabled.
Interactive timeout: 10 minutes 10 seconds
History: 10
SSH configuration:
SSH is enabled.
Interactive timeout: 10 minutes 10 seconds
History: 10
```